

高岡商工会議所地域経済動向調査
(令和3年度 第1四半期・令和3年4月～令和3年6月)

2021/7/21

ポイント

- ◆ 売上高対前年同期比は-4.8と42.7上昇（3期連続・過去最大上昇幅）
建設業以外は大きく上昇（製造業が3期連続・過去最大の上昇幅）
卸売業と小売業がともにプラス値となったのは、4月に消費増税が控えた平成25年度第4四半期以来
- ◆ 売上見通し（来期対前年同期）は4期連続改善
- ◆ 採算性は-17.1と24.2上昇（4期連続・過去最大上昇幅）

□改善の動き広がる

売上高対前年同期比（全産業）は、-4.8と前回調査(-47.5)から大きく上昇した（表①・グラフ①）。業種別にみると、卸売業と小売業がともにプラス値となったのは消費税が5%から8%へ増税された平成26年4月直前の調査以来である。製造業は前期に続き大きく改善し、過去最大の上昇幅となった。一方、建設業は増加と回答する企業が少なく大きく低下し、その他の業種とは異なる動きとなった。

来期の見通し（グラフ④）も、増加と不変の合計が8.1増加し、全体としては明るい見通しとなっているが、建設業は増加5.9、減少58.8と減少が増加を大きく上回った。

採算性（表②、グラフ⑤）では、全体では4期連続で上昇（今期は過去最大の上昇幅を記録）したが建設業のみ低下し、ここでも厳しい結果となった。

建設業について詳しくみると、全国及び中部地方の売上高対前年同期比DIの推移は、ともに令和2年度第1四半期を底として以後一度も低下することなく今期まで上昇している（全国:-70.5⇒-17.2、中部:-47.0⇒-21.3）。一方、同時期、当地域では上昇と低下を繰り返し-22.2⇒-31.3と推移した。関連の数値として、高岡市の新設住宅着工戸数（富山県土木部建築住宅課資料より）は2021年1～5月（256戸）は昨年同時期（317戸）と比較すると19%減だが富山市は1%増となり本市の厳しさが目立つ。経営に関する課題を問う設問（表⑤）では、人材面以外では官公需、民間需要の停滞が上位にあり、来期の売上見通しとあわせると、厳しい状況が続くことも考えられる。

□DXの取り組みは業種で差が見られる

新型コロナウイルスの影響で、企業のデジタル化、DXが進んだとされている。本調査における設備投資に関する設問の結果から当地域のDXの取り組み状況が見えてくるだろうか。

右表（表A）は、過去4年間の設備投資状況である。全体では、2019年から2020年にかけて活発となり、2021年に入ってから減少傾向を見せている動きとなっている。

IT投資（OA機器）については、2017年末から10%を上回る結果が続いたが今四半期は、7.8%とここ4年ほどでは最も低い数値となった。

新規設備投資計画(今期)

表A

時期	設備投資した企業割合(業種別)						IT投資した企業割合(業種別)					
	全体	建	製	卸	小	サ	全体	建	製	卸	小	サ
2016.4	30.1%	11.8%	34.7%	21.4%	23.8%	42.9%	8.4%	0.0%	6.9%	14.3%	4.8%	14.3%
2017.1	31.1%	27.8%	34.7%	20.8%	18.2%	42.9%	8.5%	5.6%	5.6%	8.3%	4.5%	21.4%
2017.2	35.0%	37.5%	35.7%	23.3%	22.2%	51.7%	8.6%	6.3%	5.7%	13.3%	0.0%	17.2%
2017.3	31.7%	30.0%	33.3%	22.2%	20.0%	46.4%	11.8%	10.0%	10.6%	11.1%	5.0%	21.4%
2017.4	31.8%	25.0%	27.3%	26.9%	33.3%	50.0%	11.5%	12.5%	7.6%	15.4%	4.8%	21.4%
2018.1	31.7%	31.3%	28.8%	29.6%	9.5%	56.7%	10.2%	6.3%	6.8%	18.5%	0.0%	20.0%
2018.2	36.4%	37.5%	39.7%	26.7%	15.0%	53.8%	12.7%	37.5%	11.0%	10.0%	0.0%	15.4%
2018.3	36.3%	52.9%	39.2%	25.8%	22.2%	39.3%	10.7%	11.8%	10.8%	6.5%	5.6%	17.9%
2018.4	30.8%	15.8%	31.9%	25.9%	11.1%	57.7%	10.7%	5.3%	8.7%	11.1%	0.0%	26.9%
2019.1	28.5%	17.6%	32.9%	24.0%	16.7%	36.4%	8.9%	17.6%	7.9%	16.0%	0.0%	4.5%
2019.2	41.3%	53.3%	47.2%	25.0%	18.8%	50.0%	11.6%	20.0%	9.7%	10.7%	0.0%	20.8%
2019.3	40.4%	52.9%	39.7%	37.0%	12.5%	56.5%	14.6%	17.6%	10.3%	22.2%	0.0%	26.1%
2019.4	40.9%	44.4%	40.5%	37.5%	27.8%	52.0%	15.1%	11.1%	13.5%	12.5%	5.6%	32.0%
2020.1	31.3%	44.4%	30.9%	28.1%	9.1%	46.2%	10.1%	5.6%	7.4%	15.6%	4.5%	19.2%
2020.2	33.3%	50.0%	35.1%	22.2%	11.1%	47.6%	10.3%	12.5%	8.1%	14.8%	5.6%	14.3%
2020.3	37.5%	43.8%	42.3%	23.3%	5.6%	57.7%	13.1%	12.5%	11.5%	13.3%	0.0%	26.9%
2020.4	35.0%	31.3%	38.2%	25.9%	16.7%	52.2%	10.0%	6.3%	10.5%	7.4%	5.6%	17.4%
2021.1	30.5%	22.2%	36.8%	17.9%	15.0%	44.0%	7.8%	5.6%	7.9%	3.6%	10.0%	12.0%

2020年は2019年より減少し、新型コロナウイルスによるデジタルシフトの動きが進んだか、という点においては本調査では明らかにはなっていない。業種別にみると、小売業のIT投資の低さが目に付くが、この結果に関しては、小売業の回答企業に比較的小規模な企業が多いことや、回答に際し選択肢の「OA機器」という項目にPOS機器やネットワーク構築等への投資を含めていない可能性がある点は留意したい。

□新常態への対応を

この1年余り、日々の暮らしからビジネスにおいて様々な変化が求められた。変化に許される時間はますます短くなっていると感じる。アフターコロナからニューノーマルへ。これもまた新常態への対応か。

[地域経済動向調査概要]

調査月 令和3年4月～令和3年6月 (基準日6月1日)

対象 高岡市内事業所 339社

回答数 167社 (回収率 49.3%)

回答業種内訳及び構成比

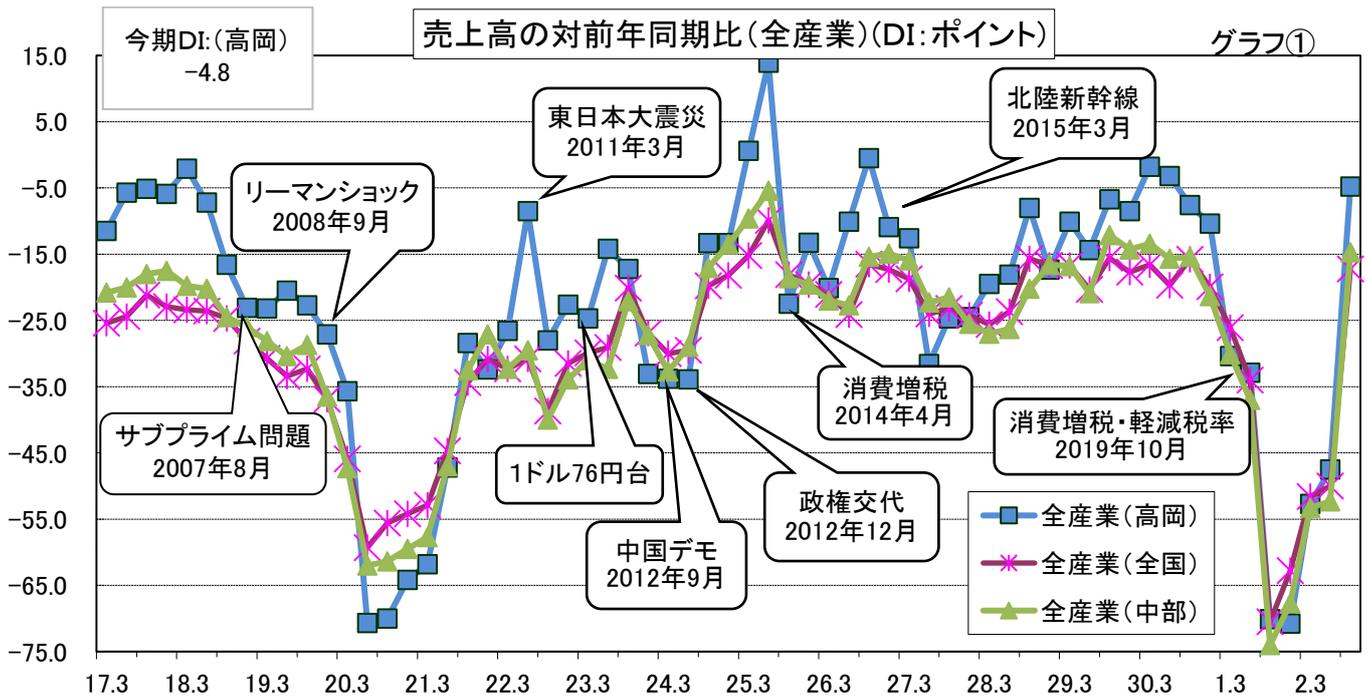
	建設	製造	卸売	小売	サービス	全体
回答数	18社	76社	28社	20社	25社	167社
%	10.8%	45.5%	16.8%	12.0%	15.0%	100.0%

■1.売上高の対前年同期比

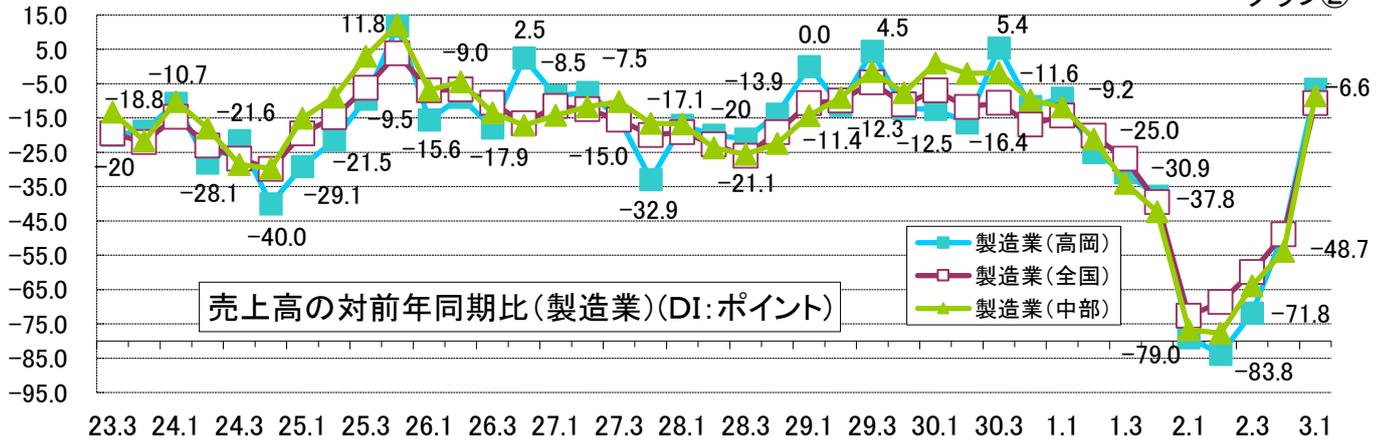
(%) (ポイント)

表①

		増加	不変	減少	DI	前回DI	変化	全国DI
業	建設業	0.0	50.0	50.0	-50.0	-31.3	-18.7	-18.6
	総合・土木	0.0	54.5	45.5	-45.5	-20.0	-25.5	-
	建築・職別工事	0.0	42.9	57.1	-57.1	-50.0	-7.1	-
	製造業	36.8	19.7	43.4	-6.6	-48.7	42.1	-10.7
	銅器・漆器	31.3	25.0	43.8	-12.5	-40.0	27.5	-
	アルミ・機械・化学・電気	43.9	14.6	41.5	2.4	-48.8	51.2	-
	食品・繊維・紙・他	17.6	29.4	52.9	-35.3	-61.1	25.8	-
	卸売業	42.9	17.9	39.3	3.6	-55.6	59.2	-12.7
	銅器・漆器	28.6	14.3	57.1	-28.6	-100.0	71.4	-
	その他	50.0	20.0	30.0	20.0	-50.0	70.0	-
種	小売業	60.0	5.0	35.0	25.0	-55.6	80.6	-26.3
	食品・衣料・雑貨	57.1	0.0	42.9	14.3	-50.0	64.3	-
	電化製品・文化用品・他	61.5	7.7	30.8	30.8	-58.3	89.1	-
	サービス業	36.0	28.0	36.0	0.0	-39.1	39.1	-15.8
	全産業	36.5	22.2	41.3	-4.8	-47.5	42.7	-17.2

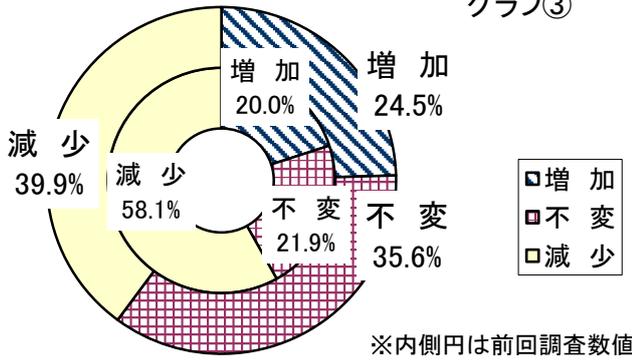


グラフ②



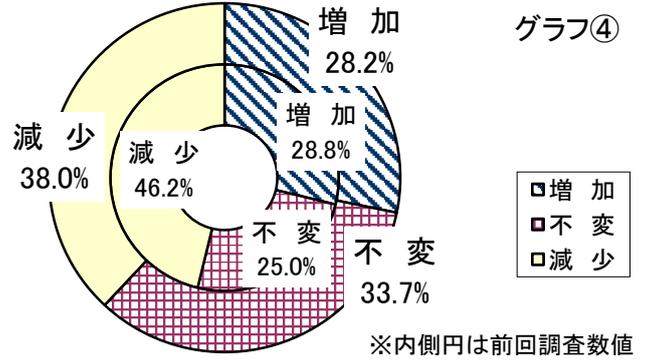
■ 2-1. 売上高の対前期比

グラフ③



■ 2-2. 売上高の来期見通し(対前年同期比)

グラフ④



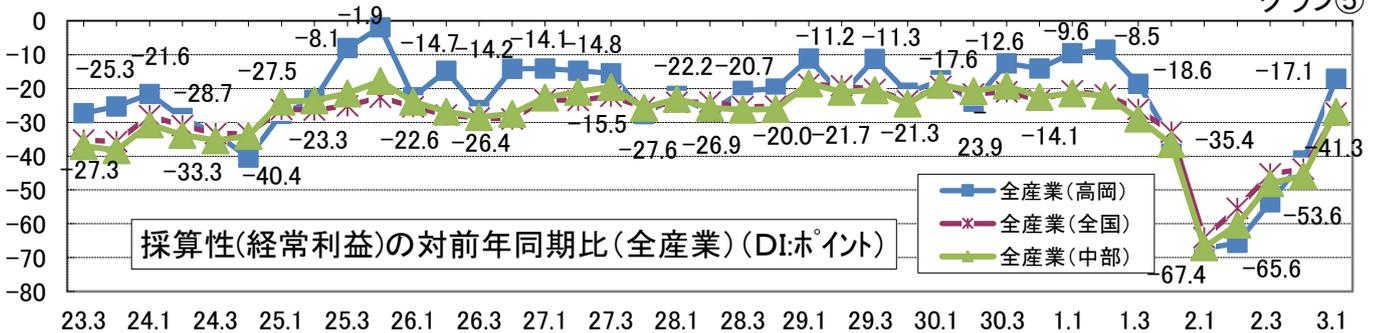
■ 3. 採算性(経常利益)の対前年同期比(%) (ポイント)

※全国DIは前回調査分

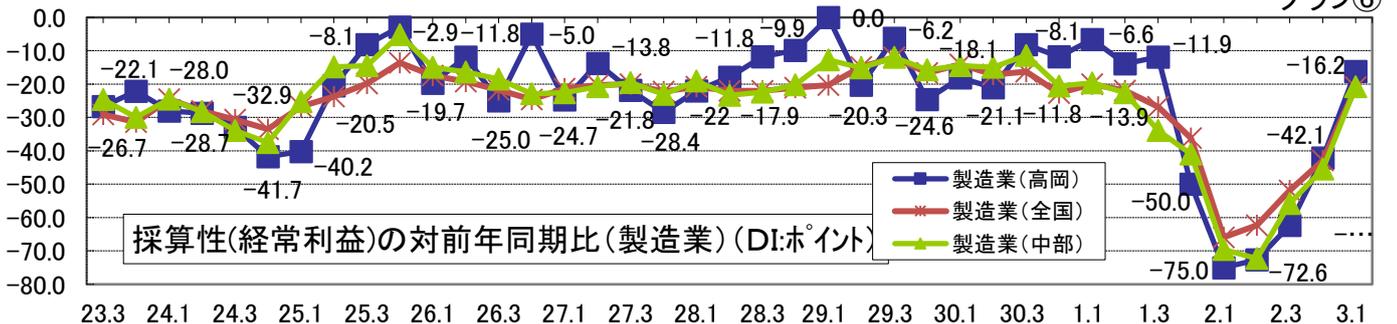
業種		対前年同期比(%)			DI	前回DI	変化	全国DI
		好転	不変	悪化				
業種	建設業	0.0	58.8	41.2	-41.2	-25.0	-16.2	-22.7
	製造業	32.4	18.9	48.6	-16.2	-42.1	25.9	-42.9
	卸売業	21.4	42.9	35.7	-14.3	-51.9	37.6	-39.4
	小売業	45.0	25.0	30.0	15.0	-33.3	48.3	-46.2
	サービス業	8.0	52.0	40.0	-32.0	-43.5	11.5	-51.8
	全産業	25.0	32.9	42.1	-17.1	-41.3	24.2	-43.8

表②

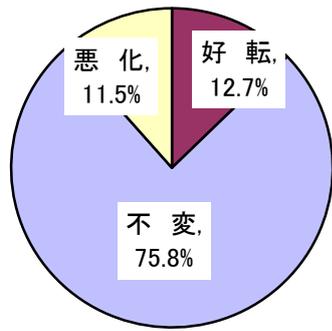
グラフ⑤



グラフ⑥



■ 4. 資金繰り(前年同期比)



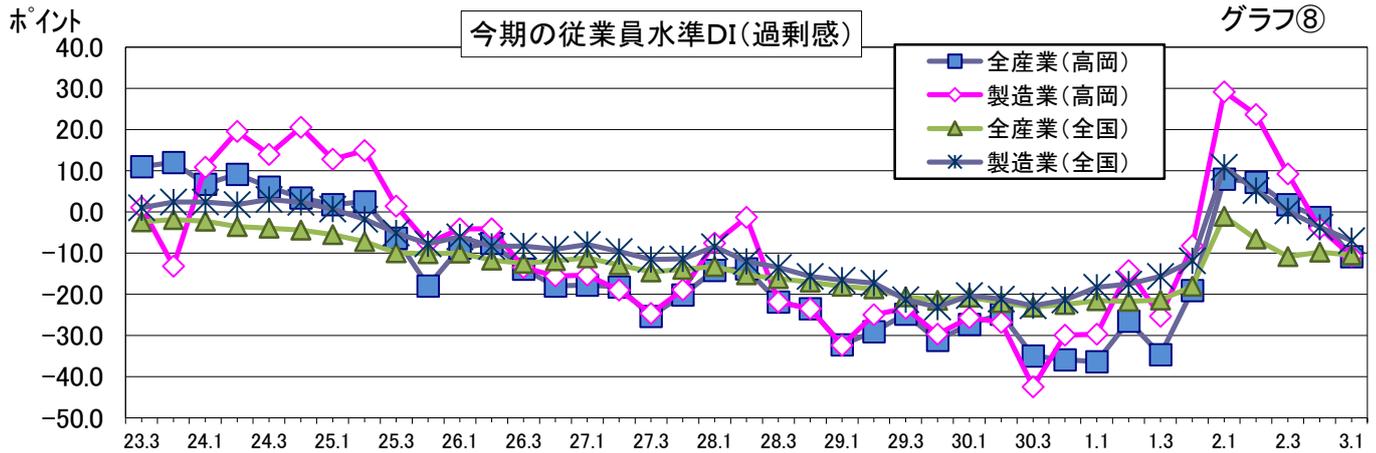
グラフ⑦

資金繰り(前年同期比)の推移

	好転	悪化	DI
3.1	12.7%	11.5%	1.2
2.4	5.7%	22.9%	-17.2
2.3	5.5%	28.7%	-23.2
2.2	2.0%	29.4%	-27.5
2.1	3.4%	38.6%	-35.2
1.4	5.8%	19.5%	-13.6
1.3	4.2%	9.8%	-5.6
1.2	6.6%	8.6%	-2.0
1.1	7.8%	8.5%	-0.7

表③

■ 5. 今期の従業員水準(今期の過剰感)



グラフ⑧

従業員水準(過剰感)の推移

表④ (ポイント)

	R1.2	R1.3	R1.4	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R3.1
建設業	-86.7	-70.6	-55.6	-61.1	-31.3	-37.5	-18.8	-33.3
製造業	-14.3	-25.4	-8.2	29.1	23.6	9.2	-4.0	-10.7
卸売業	-3.6	-29.6	4.2	16.1	0.0	20.0	14.8	10.7
小売業	-40.0	-21.4	-17.6	4.8	5.6	-11.8	5.9	-15.8
サービス業	-43.5	-50.0	-48.0	-16.0	-10.0	-7.7	-4.3	-16.0
全産業	-26.5	-34.7	-19.1	8.0	7.2	1.8	-1.3	-10.9

※数字が小さいほど不足感が強い
複数回答

■ 6. 直面している経営上の問題(各業種の回答上位)

建設業	①従業員の確保難	18.0%
	②民間需要の停滞	16.0%
	③官公需要の停滞	14.0%
製造業	①需要の停滞	18.1%
	②原材料価格の上昇	16.6%
	③従業員の確保難	14.6%
卸売業	①需要の停滞	22.1%
	②仕入単価の上昇	16.2%
	③販売単価の低下・上昇難	11.8%
小売業	①消費者ニーズの変化への対応	24.5%
	②需要の停滞	15.1%
	③大企業・中型店の進出による競争の激化	9.4%
サービス業	①需要の停滞	17.2%
	②店舗・倉庫の狭隘・老朽化	15.5%
	③人件費の増加	13.8%

表⑤